

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
18・7・1(日)
南NEWS no 29

グアルディオラのサッカー哲学

バルセロナ、バイエルンと監督を務め、現在はマンチェスターシティの監督をしているグアルディオラのサッカー哲学です。

○**数的優位性**： ボールの周囲に相手よりも多くの人数を配置すること

南で教えている北斗七星のシステムが数的優位を常に保つことになります。

4人でトライアングルとローンバス(ひし形)の陣形を保ち、前方・左右・後方と常に四つのパスコースが観えている状況を創りだし、ロストボールの時は即時奪回、4人で囲んでボールを奪取するというシステムです。

『モダンサッカーの教科書』より
レナート・バルテイ、片野道郎著
株式会社 ソルメディア



4年生が力をつけてきました。DUELするチームになってきました。グッドボディシェイプで首を振って5つを観て、アイデアを持ち、伝え合うコーチングができるチームを目指してください！！さらに強くなります。

練習試合 vs 大沼 4・3年生 2018/6/24 (日) 会場：大沼小学校

○めあて：
声を出す、周りを見る、守備はコンパクトにし攻撃時には広がる、攻守の切り替えを早くする

相模原市のサッカーチーム・大沼 SSS さんからの誘いで練習試合を行いました。20分ハーフ×2本と20分1本を行いました。

○1 試合目 0-3 前半 0-0

前半は押し気味に進めるも得点を奪えず。後半は相手ボールになった時の切り替えが遅く、厳しい寄せもないため自由にシュートを許してしまい失点。前半優位な状況から気持ちのゆるみが見られました。

○2 試合目 4-1 前半 3-0

得点者：カイト君、レオン君 (A アイル君)、アイル君、セナ君

前半開始5分、コーナーキックをカイト君が蹴り、強烈なボールが相手選手にあたってゴール。続けてアイル君が左サイドをドリブルで駆け上がりゴール前へ低いクロス。飛び込んできたレオン君がスライディングシュートで押し込み追加点。更に、左サイドをシン君→レオン君→カイト君とつないで崩し、ライナーのクロス。右から飛び込んできたアイル君が豪快なヘッドでゴールネットに突き刺します。

3分間で3点を奪う怒涛の攻めでした。トップに入ったマサヤ君が裏に抜ける動きや高い位置でのフォアチェックなどで攻守に貢献しました。その後、相手チームの攻めを受ける時間もありましたが、バックラインのタイヨウ君、シン君の攻守の切り替えが早く、何度もボールを奪いきりピンチを未然に防ぎました。終了間際のピンチは GK セナ君が好セーブで見事に防いでくれました。

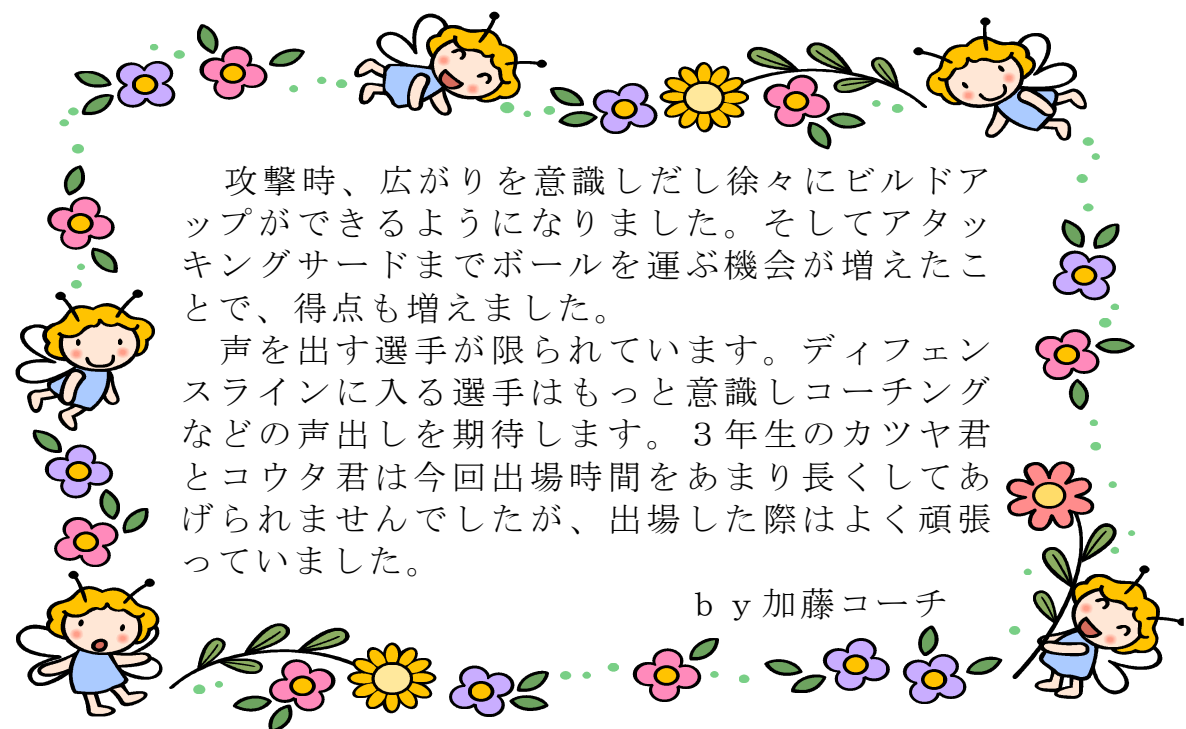
後半、右サイドバックでボールにからむ機会がどんどん増えているリオト君が相手選手をアウトターンで見事にかわしスルーパス。観て、狙いを持って出したパスにしっかり成長を感じました。

左サイドのレオン君、カイト君、シン君らでのつなぎ・崩しからチャンスをつかみ、カイト君の惜しいシュートが何本かありました。相手の早い選手に突破されたシーンもアイル君やタイヨウ君があきらめずに追いつけたことで得点を阻止しました。1点を奪われてしまいました。アイル君がゴールに向かったパスを出し、セナ君がディフェンスに走り勝ちシュート。コースを変えたボールはゴール左に吸い込まれます。ストライカーらしいプレーでした。クリーンシートで終えられなかったのは残念ですが、得点を奪われた後に奪いかえしての勝利。いいゲームでした。

○3 試合目 2-2 得点者：アイル君、レオン君

最後に20分1本を行いました。集中力の問題か。いきなり失点してもおかしくないピンチを迎えましたが、GKのタイヨウ君、アイル君の体を張った守りで何とか防ぎ切りました。試合半ばに先制点を許しましたが、14分に右サイドをゴールライン近くまで突破したアイル君がほとんど角度のないように見えたところからシュートをゴール上に叩き込みます。ゴラッソ!!! 同点のまま終盤へ。

勝つという気持ちを出して攻め込んでくるホームの大沼 SSS さんに勝ち越し点を奪われてしまいます。残り時間わずかな19分、左サイド高い位置で南のスローイン。ボールを受けたレオン君がサイドからカットイン。ペナルティエリアに入ったところでファーサイドを狙ったシュートはゴール右に吸い込まれていきました。みごとな同点ゴール！粘り強く戦えるようになり手ごたえがたっぷりつかった、土壇場でよくぞ追いついた引き分けでした。



攻撃時、広がり意識を徐々にビルドアップができるようになりました。そしてアタッキングサードまでボールを運ぶ機会が増えたことで、得点も増えました。

声を出す選手に限られています。ディフェンスラインに入る選手はもっと意識しコーチングなどの声出しを期待します。3年生のカツヤ君とコウタ君は今回出場時間をあまり長くしてあげられませんでした。出場した際はよく頑張っていました。

by 加藤コーチ

ワールドカップを観ていると後方の味方がボールを保持するとFWやMFが相手のギャップに顔を出して縦パスを受ける動きをしています。6月30日(土)の6年生が5対5の練習をしているとき、リオウタ君がこの動きをしていました。

ミドルサードで味方がライン際でボールを持ったとき、その横についてサポートをする動きもできるようにしたいですね。



